

【春の沢集中 小雲取谷】

2010. 6. 6 (日)

L. 奥平 山本 糸井 (記)

集中前日までの不安定な空模様はどこへやら。入梅前とは思えない程の好天に恵まれた 2010 年春の沢集中となった。

今回の小雲取谷パーティは、日帰りではあるが、いぶし銀の山本さんに新婚ホヤホヤの奥平さんとの初顔合わせで、どんな遡行になるか楽しみだ。

しかし、奥多摩という場所は私にとって最大の鬼門…これまでも沢やフリークライミングと何度、足を運んだのかわからないほどなのに、あのクネクネした道で間違いなく車酔いをしてしまうのだ。と、いうことで今回の小雲取谷も沢の遡行は水だけ飲んで始まった。

6 : 00

心配していた林道は、入渓地点間近まで車が入ることができた。駐車した林道脇を下り、20 分ほどで入渓地点に到着。

6 : 40

沢支度を整えていよいよスタートだ。水は、さほど冷たくはなく、私好みの釣りポイントがそこかしこにあり、よれた体調も忘れて魚が気になって仕方がない。

7 : 10

右岸の高台に黄色いテントがあり、二人ほどいたようだがやはり釣師だったのだろうか…気になるなあ。しばらく進むと左岸が大崩壊している。

7 : 35

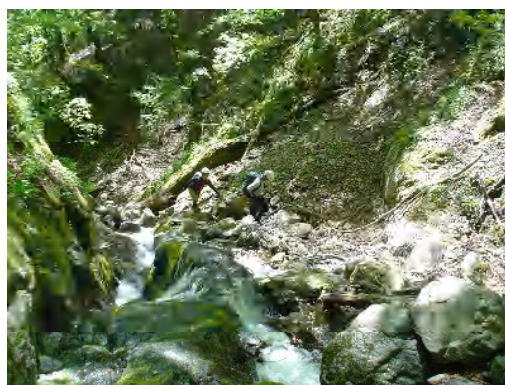
見事な T 字状の二俣に出会う。まずは

ひと休み。この二俣の左が、いよいよ小雲取谷だ。ここでやっとおにぎりを 1 個口にする。やれやれこれで少しは調子が戻ってくるだろう。しかし、残念なことに小雲取谷に入ると倒木が目立つようになり、小滝が増えて魚のいるような溪相ではなくなってしまった。

8 : 20

階段状の 7m ほどの滝が現れる。「左右どちらでも登れる」といった記録もあったが、今回は水量が多いのか、とても右は登れない。申し訳ないとは思ったが、新婚の奥平さんにリードをしてもらい、ロープを出すように山本さんが促してくれた。

盛夏ならばホールドの多そうな流芯を行かれるかとも思ったが、滝の左へ足を出してみると、かなりの水勢で流芯突破はとても無理そうだ。しかし、ロープの必要性を感じたのは、この滝だけだった。



8 : 55

時間も早いのでのんびり行こうとひと休み。風もなく快晴の青空に木々の新緑が非常に美しい！また、奥多摩は、鳥の種類も多いのでさえずりがとても心地よい。辺りには、ぽつぽつと赤っぽい石が

見えるようになってきたのが遠目にもわかるようになる。

9 : 30

トイ状の滝

9 : 40

2 : 1 の二俣に出合う。左を進んでいくとすぐにまた、2 : 1 ほどの二俣が現れる。

左を詰めた方が林道に近そうな気もするが、「見るからにガレっぽくてつまらなさそうだ！」との山本さんの一言で右を進む。これが大正解！岩に新芽の苔が眩しくとてもきれい！さすが、読みの深いいぶし銀の山本さんである。

9 : 53

左岸に赤い岸壁が現れる。南アルプスの赤石沢とは違う岩質なのか、同じ赤い石だが、薄い赤紫のような色合いだ。

9 : 55

定時交信。野澤パーティと繋がった。彼らは、なんと 9 : 30 に集合地点の雲取の避難小屋に到着しているとのこと。随分と気合が入っていたものだ。

赤岩壁の上で一旦枯れたと思った水が、さらに上流でもほどほどの水量で流れが続いている。すっかり水が枯れた詰め斜面で、奥平さんが沢靴を履き替えている。それは、今回の集中に身重で不参加となった妻のつむぎさんに泥だらけになった沢靴を見せるのは、気が引けるとの気遣いからだ。奥平さん、さすがの心配りであ〜る。

10 : 40

笹の生い茂る広い尾根に出る。登山道脇にザックを下ろし、装備をはずしてホ

ット一息。しかし、空気は乾いているものの気温が随分と上昇してきていて風もなく非常に暑い！！

11 : 00

後は、太陽にジリジリ照らされながら、集中場所の避難小屋へ向かって登山道をひたすら歩くが、遠くに避難小屋と何人もの人が立っているのが見えてくると暑いにもかかわらずつついペースが上がってくる。

11 : 30

ついにみんなの待つ避難小屋へ到着。遡行開始の体調で、集中時間に間に合うのか内心心配していたが、集中予定時間の正午より、早く到着できて本当によかった。集中できたうれしさと安心し、体調もすっかり戻り、お腹はペコペコだ。また、安藤さんのパーティとの交信が一度も取れず、心配した場面もあったが、若干の遅れがあったもののほぼ集合時間の正午に全員が集中完了となる。

12 : 25

今回の沢集中担当をしてくれた野澤さんと新井さんの挨拶にみんなからの激励の拍手！集中成功おめでとう〜！！記念撮影をすませ、各パーティ毎に下山開始する。

14 : 25

暑さと虫に取り囲まれて、無事林道の車に到着する。みなさんお疲れさまでした！

地形図：雲取山、丹波（1/25000）